

第6次国有林野施業実施計画書

(利根上流森林計画区)

自 令和3年4月1日
計画期間
至 令和8年3月31日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	林道等の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	8
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	9
(1)	保護林の名称及び区域	9
(2)	緑の回廊の名称及び区域	11
6	レクリエーションの森の名称及び区域	12
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	29
8	その他必要な事項	29
(1)	施業指標林、試験地等	29
(2)	フィールドの提供	31
(3)	森林共同施業団地	32
(4)	その他	33

附属参考資料

(1)	国有林野の現況	36
(2)	機能類型別の国有林野の現況	38
(3)	林道等の現況	39
(4)	収穫予想表	39
(5)	地元施設等の現況	39

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

施業群	細分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
通常伐期	スギ分散伐区	4,637.04	森林の管理経営の指針による	50
	ヒノキ分散伐区	1,389.92	〃	55
	アカマツ分散伐区	184.58	〃	55
	カラマツ分散伐区	3,130.60	〃	50
	生物多様性復元	2,210.26	赤谷の森管理経営計画書による	50～55
長伐期	スギ長伐期	646.79	森林の管理経営の指針による	80
	ヒノキ長伐期	443.99	〃	80
	アカマツ長伐期	415.67	〃	80
	カラマツ長伐期	1,598.64	〃	80
	人工林整備型長伐期	444.72	赤谷の森管理経営計画書による	80
複層林	スギ複層林	316.63	森林の管理経営の指針による	50～100
	ヒノキ複層林	245.98	〃	55～110
天然林・その他	ぼう芽分散伐区	13.59	〃	25
	天然生アカマツ分散伐区	506.65	〃	55
	天然林複層伐区	2,379.04	〃	70
	択伐	19,664.60	〃	回帰年は定めない
	生物多様性維持	2,990.19	赤谷の森管理経営計画書による	定めない
	その他	330.61	森林の管理経営の指針による	定めない
設定外(注1)		1,287.73		定めない
合計		42,837.23		

(注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2. 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	備考
通常伐期	1,141	スギ分散伐区 (464) ヒノキ分散伐区 (126) アカマツ分散伐区 (17) カラマツ分散伐区 (313) 生物多様性復元 (221)
長伐期	222	スギ長伐期 (40) ヒノキ長伐期 (28) アカマツ長伐期 (26) カラマツ長伐期 (100) 人工林整備型長伐期 (28)
複層林	54	スギ複層林 (32) ヒノキ複層林 (22)
天然林・その他	2,517	ぼう芽分散伐区 (3) 天然生アカマツ分散伐区 (46) 天然林複層伐区 (170) 択伐 (1,966) 生物多様性維持 (299) その他 (33)
合計	3,934	

(注) 備考欄は、施業群の細分で () は細分個々の上限伐採面積である。

(4) 伐採総量

(単位：m3)

区 分		林 地					林地 以外	合 計	
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計			
山地災害防止タイプ		2,237	15,014	17,251					
森林空間利用タイプ		237	35,631	35,868					
水 源 涵 養 タ イ プ	通	スギ分散伐区	83,392	82,777	166,169				
		ヒノキ分散伐区	2,010	38,164	40,174				
	常 伐	アカマツ 分散伐区	—	1,053	1,053				
		カラマツ 分散伐区	6,436	35,976	42,412				
	期 復	生物多様性 復元	23,122	45,326	68,448				
		長	スギ長伐期	1,007	16,751	17,758			
	涵		ヒノキ長伐期	—	4,726	4,726			
		養	アカマツ 長伐期	—	1,654	1,654			
	期		カラマツ 長伐期	—	23,339	23,339			
			人工林整備型 長伐期	—	22,902	22,902			
	タ	複 層 林	スギ複層林	3,565	3,168	6,733			
			ヒノキ複層林	159	4,971	5,130			
	イ プ	天然林・ その他	天然生アカマツ 分散伐区	1,451	891	2,342			
			天然林 複層伐区	390	3,383	3,773			
			択伐	—	6,438	6,438			
		設 定 外	153,531	1,315	154,846				
	計	275,063	292,834 (3,775.87)	567,897					
合 計		277,537	343,479 (4,537.46)	621,016	40,000	661,016	—	661,016	
年 平 均		55,507	68,696 (907.49)	124,203	8,000	132,203	—	132,203	

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：m3)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計		
沼 田 市	73,593	125,574	199,167				
片 品 村	30,312	16,186	46,498				
川 場 村	46,231	37,500	83,731				
昭 和 村	14,614	16,057	30,671				
み な か み 町	112,787	148,162	260,949				
合 計	277,537	343,479	621,016				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	4.35	—	0.54	—	849.62	854.51
	複層林造成	3.82	—	—	—	15.30	19.12
	計	8.17	—	0.54	—	864.92	873.63
天然 更新	天然下種 第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種 第2類	—	—	7.11	—	88.85	95.96
	ぼう芽	—	—	—	—	12.44	12.44
	計	—	—	7.11	—	101.29	108.40
合 計		8.17	—	7.65	—	966.21	982.03

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	14.93	—	9.53	—	2,369.50	2,393.96
	つ る 切	0.29	—	5.13	—	159.26	164.68
	除 伐	0.58	—	3.14	—	134.76	138.48

3 林道等の整備に関する事項

基幹 ・ その他別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	開設	中野(林業専用道)	39外	3,800	
		糸之瀬(林業専用道)	158外	2,300	
		小出俣(林業専用道)	244外	1,250	
		南ヶ谷(林業専用道)	247	1,900	
	小計	4路線		9,250	
	改良	石墨	1	100	
		武尊・塗川(江戸沢)	53	30	
		ケヤキ沢	104	20	
		倉見沢	122	6,329	
		新地	128	12	
		二又沢	139	17	
		雨見	208	22	
		保土野	213	200	
		万沢(赤沢)	216	139	
		赤谷	239	500	
宝川		335外	300		
檜俣	360外	42			
小計	12路線		7,711		
その他	開設	大戸屋(林業専用道)	7	1,000	
		富士山第2(林業専用道)	21	2,500	
		富士山第3(林業専用道)	21	1,000	
		田代川(林業専用道)	36外	7,700	
		アテラ沢(林業専用道)	63	1,800	
		船ヶ鼻第2(林業専用道)	155	1,700	
		糸之瀬第2(林業専用道)	157	3,000	
		糸之瀬第3(林業専用道)	157外	2,300	
		境沢(林業専用道)	201	600	
		高畑(林業専用道)	209	800	
		富士新田(林業専用道)	245	3,800	
		富士新田第2(林業専用道)	246	1,620	
		境野(林業専用道)	248外	2,400	
		大峰(林業専用道)	251外	3,300	

基 幹 ・ その他別	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長 (m)	備 考
そ の 他	開 設	大峰林道大沼支線 (林業専用道)	254外	3,250	
	小 計	15路線		36,770	
	改 良	新地袈裟丸支線	131	86	
		昭和	156外	800	
		大日沢	163	15	
		三峰林道三峰支線	256	20	
		谷川	307	500	
		檜俣座々良支線	360	30	
		矢田沢	362	20	
		先倉	363	70	
		大沢	369	13	
小 計	9 路線		1,554		
計	開 設	19路線		46,020	
	改 良	21路線		9,265	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	市 町 村	区 分	工 種	計 画 量
6、8、42、75、76、78、79、81、 84、87～89、91、92、94、96、98、 102～104、109、110、114、116～ 118、122、123、140、145、147～ 152、162、163、165、172	沼 田 市	保 安 施 設	溪 間 工 山 腹 工	40か所 51か所
44、45、47、49、57、62、63、66、 67、70～72、74	片 品 村		溪 間 工 山 腹 工	16か所 9か所
19、20	川 場 村		溪 間 工	2か所
154、157	昭 和 村		溪 間 工	2か所
206、208～210、213、220、222、 247～252、254、256～259、261～ 263、302～304、307、311～315、 318、319、322～331、333、335、 336、349、359、362～365、368～ 370、372、378、379、385～388	み な か み 町		溪 間 工 山 腹 工	80か所 68か所
220、222、314、323、326、327、385	み な か み 町	防 災 林 造 成	な だ れ 防 止 林 造 成	15か所
250、251	み な か み 町	地 す べ り 対 策	地 下 水 排 除 工	2か所
合 計		保 安 施 設	溪 間 工 山 腹 工	140か所 128か所
		防 災 林 造 成	な だ れ 防 止 林 造 成	15か所
		地 す べ り 対 策	地 下 水 排 除 工	2か所

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

原生的な森林生態系からなる自然環境、地域固有の生物群集を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的とした保護林を下記のとおり設定し、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護・管理を図っていくこととする。

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
森林生態系 保護地域	利根川源流部 ・ <small>ひうちがたけ</small> 燧ヶ岳周辺	保存地区 3,861.67	347-V に、ほ、 イ4～イ7 347-VI は～イ6	利根川源流部・燧ヶ岳周辺は、亜高山帯にはオオシラビソ群落、山地帯にはブナ群落が広がり、雪蝕地形にはミヤマナラ群落、稜線にはチシマザサ草原が分布している。 また、平ヶ岳周辺の稜線付近では、コメツガ群落、オオシラビソ群落、雪田植物群落、湿原植生が分布し、丹後山では山腹斜面にブナ群落、尾根上部には自然低木群落が分布している自然に恵まれた地域である。	
		保全利用地区 7,792.10	347-I～IV 全 347-V い～は、 イ1～イ3 347-VI い、ろ 347-VII 全		
計	1か所	11,653.77			

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
希少個体群 保 護 林	玉 尊 原 ア ス ナ ロ	5.73	17 る2～か2	伐採後の一斉林と考えられる伏条更新が良好な天然生アスナロの群落である。	
	武 尊 山 シラカンバ 遺 伝 資 源	8.60	52 り2	南東北及び関東地方において、他には類を見ない高密度でシラカンバが生育し、高木層にブナやアカイタヤが混生し始めている群落である。	
	栗 原 川 ウダイカンバ 遺 伝 資 源	11.75	100 に1	南東北及び関東地方において、他に類を見ない高密度でウダイカンバが生育する群落である。	
	法 師 ク ロ ベ	17.41	216 え1、え2	利根上流地域には珍しいクロベ、コメツガ等からなる原生的な森林である。	
	谷 川 岳 サワグルミ 遺 伝 資 源	8.28	319 ろ1	崖錐堆積地 <small>がいのすかいたいせきち</small> といった特殊な立地に成立する高齢級のサワグルミの群落である。	
計	5か所	51.77			
合 計	6か所	11,705.54			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外するべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

緑の回廊は、より広範で効果的な森林生態系の保護・保全に努めるため野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すことが適当と認められる国有林野を選定することとして、下記のとおり設定する。

名 称	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
緑の回廊 三国線	36.1	5,047.17	217 ロ 218 ら～イ 219 ハ 220 た1、た2、 ニ1～ホ 222 わ、よ1～そ、 ハ、ニ 230 り、ぬ 231 わ～ら、ロ 233 い～は2、 ロ～ホ 234～237 全 309 イ～ハ 310 ロ2～ロ4 318 ホ2～ホ4 319 イ2、イ6、イ7、 ト1～ト9、ト13、 ト14 335 に3、ロ1～ロ3 339 ろ～イ3	利根川源流部・燧ヶ岳周 辺森林生態系保護地域と佐 武流山 ^{ぶりゅうやま} 周辺森林生態系保護 地域を結ぶ三国山脈沿いの 天然生林の多い地域であ る。	
緑の回廊 日光線	7.6	1,275.18	62 い1～ね3	利根川源流部・燧ヶ岳周 辺森林生態系保護地域、奥 会津森林生態系保護地域及 び奥鬼怒生物群集保護林を 結ぶ天然林の多い地域であ る。	
合 計	43.7	6,322.35			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の緑の回廊の面積は、緑の回廊から除外すべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考		
自然休養林	武尊	1,393.57	29 ろ～に 30 へ、ち～る1 52 る1、る2 53 い2～い6、ろ1、に9、 に12、に14、に15、 ほ2～ほ5 54 ろ2、ろ3	険阻な稜線を持つ雄大な山体、山頂からの眺望、柱状や板状節理の発達した溶岩、垂直分布の顕著な多種の植生、ブナ、ダケカンバの天然林、 田代・花咲湿原と湿原植物、 多種の高山植物等により形成され、優れた自然景観を呈している。	育成複層林へ導くための施業 (以下「育成複層林施業」という。) 間伐面積 34.05ha	実施主体：国 ・ 歩道	国が実施する施設整備の計画なし			
		179.02	風景ゾーン			367ろ1～ろ3、は1、は3、 ほ1、ほ2、ち、り2、 り4、り6			実施主体：川場村 ・ 宿泊施設 ・ 野営場	
		775.66	風致探勝ゾーン			27 い3 28 へ 29 ほ～へ2 30 と1、と2、る2～る4 48 や 49 よ 50 む、う			天然生林へ導くための施業(以下「天然生林施業」という。)	実施主体：みなかみ町 ・ 歩道 ・ 園地 ・ 野営場 ・ 避難小屋 ・ 展望台
		221.75	自然観察教育ゾーン			217.14			51 よ1、た1、た2、つ、ね 53 い7、い10、は～に2、 に10、に11、に13、 に16、ほ1、ほ6、ほ7、 54 ろ1、は～ほ 366へ3、り7 367い、ろ4、は2、に、 ほ3～と、り1、り3、 り5、り7、る1～る3	実施主体：片品村 ・ 園地 実施主体：民間 ・ 宿泊施設

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	武尊		369わ、か 371れ 374わ2 ----- 26 イ 27 イ 29 イ 30 イ1～イ3、ロ2、ロ4 48 ニ 49 ロ 50 ロ 51 イ～ロ 52 ロ 53 イ 366イ1 367イ、ロ		天然生林施業 ----- 林地以外			
計	1か所	1,393.57						

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察	玉原	128.01	13 い1 ----- 13 イ1～イ4、ハ	武尊山西方の火山性尾根に位置し、ブナ、ミズナラを主とした天然広葉樹林で、区域内に「小尾瀬」と呼ばれる玉原湿原があり、ミズバショウ、キンコウカ等の湿原植物が見られ、自然観察教育に適し利用者が多い。	天然生林施業 林地以外	実施主体：沼田市 ・歩道	国が実施する施設整備の計画なし	
	針山	0.57	46 か1	片品村花咲集落の北西約700mに位置する湿原でザゼンソウ等の湿原植物が生育し、地域の小中学生の自然観察・自然探勝に利用されている。	育成複層林施業	既存の施設なし	〃	
	越本	4.71	58 お、ま、て2 ----- 58 く ----- 58 ロ	片品川の支流白井沢の上流に位置する湿原で、ミズバショウ等の湿原植物が群生し、地域の小中学生の自然観察・自然探勝に利用されている。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：片品村 ・歩道	〃	
育林	雨乞山	164.66	39 に1～へ、ち、わ～つ ----- 39 と、り ----- 39 イ1～イ3	川場村役場の東方3.4kmに位置し、下部はスギ、カラマツ人工林、上部はミズナラ等の広葉樹林である。 雨乞山への登山道が整備され、一般利用者の自然観察教育の場として適していることから設定したものである。	育成複層林施業 間伐面積 150.65ha ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	既存の施設なし	〃	

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察教育林	一の倉・マチガ沢	96.51	319ろ2、は、ほ1、へ ----- 319イ1、イ11～ホ2	谷川岳北面に位置し、我が国屈指の岩壁を誇る一の倉沢は、夏でも残雪が見られ魅力的な景観を呈し、整備された歩道により自然観察、自然探勝に利用されている。	天然生林施業 林地以外	実施主体：国 ・歩道 実施主体：群馬県 ・野営場 ・園地	国が実施する施設整備の計画なし	
計	5か所	394.46						

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
森林ポ ー ツ 林	玉原	202.35	10 ろ、は、ほ、と、ち	武尊山西方の山腹に位置し、玉原湖サイクリングコース、多目的広場、宿泊施設等が設置され、玉原高原における総合的な利用が図られている。	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外	実施主体：沼田市 ・歩道 ・自然観察林 ・実験林 実施主体：民間 ・宿泊施設	国が実施する施設整備の計画なし	
			10 い、に、へ1～へ3、り～よ3					
10 イ～ハ2								
川場	川場	8.89	25 に3、へ2、ち2、り11	川場村木賊集落の北方約2kmの川場谷沢の左岸に位置し、キャンプ場として地域住民はもとより、周辺市町村の小中学生に利用されている。	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外	実施主体：川場村 ・歩道 ・園地 ・運動施設 ・野営場 ・花木園 ・樹木園	〃	
			25 ほ3、と					
25 イ								
計	2か所	211.24						

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	玉原 スキー場	674.10	11 ろ2～に、り 12 い3、ろ1、は1、は2、 へ 14 ち1～ち4、ぬ1～ぬ3、 る2 15 い3、に、ほ2、へ ----- 11 ろ1、ほ1～ち 12 い1、い2、い4～い10、 ろ2、は3～ほ 13 い2～い8 14 は3、り、る1、わ2、 わ3 15 は、ほ1、と2～ぬ、 る4、る5 16 わ3、わ4 377て2 ----- 11 ハ5～ホ2 12 イ1～ニ2 13 ロ 16 イ2	武尊山西方の山腹で標高 1,000～1,300mに位置し、日 本海側型気候を呈し、積雪量 は豊富である。 傾斜は、10～30°で、初級 者から上級者まで楽しめる起 伏に富んだスキー場で、群馬 県はもとより首都圏からの利 用者で賑わっている。 夏季はキャンプ、テニス等 の利用者が多い。	育成複層林 施業 間伐面積 28.70ha ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：沼田市 ・歩道 ・園地 ・運動施設 ・休憩施設 ・宿泊施設 ・野営場 実施主体：民間 ・リフト ・休憩施設 ・宿泊施設 ・花き園	国が実 施する施 設整備の 計画なし	

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考	
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	川 場 ス キ ー 場	495.12	20 い2	武尊山南麓に位置し、日本海側型気候の影響を受け、雪質は乾性、積雪量は豊富であり、変化に富んだスキー場で、群馬県はもとより首都圏からの利用者で賑わっている。	育成単層林へ導くための施業（以下「育成単層林施業」という。）	実施主体：民間 ・リフト ・休憩施設	国が実施する施設整備の計画なし		
			16 ぬ2 18 ら6 19 ろ～ち1、ぬ1～ぬ5 20 ろ～に、と～る2、 る4、る5 21 と4、と5、ち2、 ぬ1～る 22 わ2 24 り3、る4						育成複層林施業 間伐面積 52.52ha
			14 よ3 15 る2 16 る2、わ5 19 ち2～り15 20 ほ、へ、る3、わ1、わ2 21 り 24 る2 26 い5						
			19 ロ～ニ 20 イ～ニ 21 イ						林地以外

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	武 尊 スキー場	419.47	47 れ2	武尊山東麓に位置し、雪質は良質で積雪量も豊富であり、変化に富んだスキー場として優れていることから利用者が多い。	育成単層林業	実施主体：片品村 ・リフト ・休憩施設 実施主体：民間 ・リフト ・休憩施設	国が実施する施設整備の計画なし	
			46 ろ1～ろ3、ろ5、ろ6、ち4～り6、ぬ2、る2、わ、か2、よ、た2、れ		育成複層林業			
			47 い3、い4、は1～に5、ほ3、ち1～り2、る1～る5、る7、わ、た		間伐面積 2.87ha			
			48 う7、う8、の2、の4		天然生林施業			
			46 ろ4、ろ7、た1					
			47 ほ1、ほ2、へ、と、ぬ、る6、か5、よ					
			48 う9、う10、の3、の5～の7、く					
			46 イ、ハ1～ハ3		林地以外			
			47 イ1～ホ2					
			48 ハ1、ハ2					

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	四季の森 ホワイト ワールド 尾瀬岩鞍	455.78	59 ふ、え	片品村土出 ^{つちいで} 地区の西方2km に位置し、雪質は乾性で、積 雪量が豊富なことから、12月 下旬から4月下旬まで滑走可 能な優れたスキー場であり、 首都圏からの利用者も多い。	育成単層林 施業	実施主体：民間 ・リフト等 ・休憩施設	国が実 施する施 設整備の 計画なし	
			主伐面積 1.94ha					
			育成複層林 施業					
			間伐面積 6.01ha					
			天然生林施業					
林地以外								
			53 い8					
			54 い5、い6、い11、 い12、い15、い16、 ろ4、と1、と2、 と4～ち1、ぬ1、ぬ3、 る1					
			59 よ1、た～れ2、 ら～う2、の1、の2、 や1～ま4、こ、 て～あ2、き2～め、し1					
			60 る3、つ2、ね2					
			53 い9					
			54 い10、い13、い14、 へ、と3、ち2、り、 ぬ2、る2～よ					
			59 な3～な5、う3、お、 く、さ、き1、み					
			60 な2、な3					
			54 イ1～ハ5					
			59 イ2～イ5、ニ1～ニ4、 ホ1、ト					
			60 イ1					

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス	片品高原 スキー場	117.16	54 い7、い8 55 る3 58 ゆ2、め2～み 59 い～ほ、と～る5、か、 よ2、よ3、れ3～な1	片品村土出地区の西方2km に位置し、隣接民有地スキー 場と一体的利用を図るもので ある。 雪質は乾性で、積雪量が豊 富なことから、12月下旬から 3月下旬まで滑走可能な優れ たスキー場であり、首都圏か らの利用者も多い。	育成複層林 業	実施主体：民間 ・リフト等 ・休憩施設 ・宿泊施設 ・運動施設	国が実 施する施 設整備の 計画なし	
			54 い9 59 へ1、へ2、わ1、わ2、 な2		天然生林施業			
			58 イ 59 イ1、ロ1～ハ、ニ5、 ホ2		林地以外			
ポ ー ツ	尾瀬戸倉 スキー場	156.22	61 い～ほ、と、ち1、 わ1～か、れ、む、 う1、う5～お、 く2～ま、ふ、こ	片品村の北端に位置するス キー場で、雪質は乾性で積雪 量は豊富であり、変化に富ん だスキー場である。	育成複層林 業	実施主体：片品村 ・リフト ・スキー学校 実施主体：民間 ・リフト等 ・宿泊施設 ・休憩施設	〃	
			61 へ1、へ2、ち2～る3、 よ1～た、そ、つ2、 う2～う4、く1、け、 え1～あ		天然生林 業			
			61 イ1～ニ1、ホ		林地以外			
地 域	糸之瀬 スポーツ林	17.87	157い、ろ	赤城山 <small>あかぎやま</small> の北西の山麓に位置 し、カラマツを主とする植生 で地形は緩やかであり、森林 空間を利用したスポーツ施設 等の設置に適している。 隣接民有地と一体となり、 野外活動に活用されている。	育成複層林 業	実施主体：横浜市 ・歩道 ・管理棟等 ・多目的広場 ・運動施設	〃	
			157イ		林地以外			

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	大 ^{おお} 峰 ^{みね} 山 ^{やま} スポーツ林	140.90	251ぬ～る2 252へ2、る2 253い	大峰山南麓に位置し、サイ クルスポーツと森林レクリエ ーションを組み合わせたレク リエーションの森である。	育成単層林 業 施	実施主体：みなかみ町 ・宿泊施設 ・運動施設 実施主体：民間 ・運動施設 ・野外広場 ・休憩施設 ・植物園	国が実 施する施 設整備の 計画なし	
			主伐面積 3.89ha		育成複層林 業 施			
			間伐面積 3.16ha		天然生林 業 施			
			林地以外					
			250は3 251い1、ろ～り2、わ3、 わ4、つ2～な3、む2、 む3、う2、う3 252ほ2、ち2～ち5、ち8、 り2、ぬ、る1、わ1、 わ2、か2、よ 253ろ、は、に2、ほ2、 へ2、と2、る2、る4、 わ、か3、か4、か6 254は2、わ 250へ 251い2、ら1、ら2 251イ1～ト4、ヌ1～ヌ3 252イ1、イ2、ハ1 253ロ					

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス	赤 か さ わ 沢 スキー場	110.21	216に、ほ1、へ、ち1、り1 217い、ろ1 221う2	新潟県境の近くに位置し、 日本海側型気候の影響を強く 受け積雪量が多い。 下部の傾斜は緩やかである が、上部は比較的急傾斜で変 化に富み、初級者から中級者 まで楽しめるスキー場であ る。	育成複層林 施業	実施主体：みなかみ町 ・リフト等 ・休憩施設	国が実 施する施 設整備の 計画なし	
			216い、は、ほ2、と1、と2 220に 221い1		天然生林 施業			
			216イ1、イ2、ハ		林地以外			
ポ ー ツ 地 域	奥 く と ね 利 ノ ー 根 パーク	157.07	384は1、つ4～ね1、め、 ひ1～ひ5、ひ8、も9、 せ2、せ3、せ5、せ6、 せ9～す6 386ら	湯 ゆ び ぞ 桧 曽 地区西部に位置し、 日本海側型気候の影響を受 け、積雪量、雪質ともに良好 で初級者から上級者まで楽し めるスキー場である。	育成複層林 施業	実施主体：民間 ・リフト ・休憩施設	〃	
			381ち 382と 383に 384に、つ2、つ3、ね2、 の1、ひ6、ひ7、せ1、 せ4、せ7、せ8、 す7～す9 386む1、む2		間伐面積 0.50ha 天然生林施業			
			383ハ		林地以外			
			384イ、ハ、ト					

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	ホワイト バレー スキー場	82.95	312な2～む、の2～や、 け～て1、ゆ6、ゆ7、 せ3、せ4	高倉山 <small>たかくらやま</small> から湯蔵山 <small>ゆくらやま</small> を経て 今倉山 <small>いまくらやま</small> 西面に位置する。 山麓部は緩傾斜地、上部は 比較的急傾斜地で初級者から 上級者まで楽しめるスキー場 である。	育成複層林 施業	実施主体：民間 ・リフト ・休憩施設	国が実 施する施 設整備の 計画なし	
			312ぬ2、ま、あ、き、 ゆ5、せ1、せ2					
313け2	林地以外							
312イ2～イ4、ロ3、ハ								
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	天神平 スキー場	210.29	318へ 323ぬ	谷川岳 <small>たにがわだけ</small> 南東の稜線、天神平 から湯桧曾川に至る標高700 ～1,450mに位置している。 日本海側型気候の影響を受 け、降雪も早く、積雪量、雪 質ともに恵まれている。11月 月上旬から5月までスキー場と して利用され、夏季から秋季 には登山、自然探勝等の利用 客が多い。	育成複層林 施業	実施主体：群馬県 ・園地 ・休憩施設	〃	
			312と2、ち2、り2 316よ～れ 317い1～に 318い～は1、ほ					
310ハ 312イ1、ホ2 316イ1～ロ1、ロ3 317イ3～ハ3 318イ1～ニ 323ロ1～ロ3、ニ2、ニ3	林地以外	実施主体：民間 ・リフト等 ・休憩施設 ・歩道 ・園地 ・展望台 ・野営場						

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外スポーツ地域	吾妻耶山 スキー場	169.77	301い、ろ、に、ほ、と、 ぬ1～ぬ3、る1、る2、 わ1、わ2、よ～れ、 つ、ね、ら、む1、 の1、お1、お2、く、 ま、え1～え3、 え5～え7、さ、き	吾妻耶山南東面の標高800 ～1,000mに位置し、傾斜は 10～30°で起伏に富み、日本 海側型気候の影響を受け、積 雪量は豊富である。関越自動 車道水上インターチェンジよ り至近で利便性も高い。	育成複層林 業 間伐面積 20.30ha	実施主体：民間 ・リフト ・休憩施設	国が実 施する施 設整備の 計画なし	
			302る4、か2、た2		天然生林施業			
			301は、へ、ち、り1、 ぬ4、る3、か、そ、 な、む2、う、の2、 お3、や、け～こ、 え4、え8～あ、ゆ					
			302る2、る3 301イ1～ニ		林地以外			
計	13か所	3,206.91						

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風	赤城山	92.19	149わ6、ら1～む	赤城山の西面に位置し、眺望に優れ、紅葉等が一体となった自然景観を有している。	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外	実施主体：沼田市 ・展望広場	国が実施する施設整備の計画なし	
			149れ3、ね、な2					
			149イ、ロ					
致	吾妻耶山	104.72	301り3	標高1,133mの山頂からの眺望と山頂付近に群生するシャクナゲの開花期には優れた森林景観を呈する。 山頂付近の吾妻山神社の背景林ともなっており、地元住民はもとより、小中高生等のハイキング、自然探勝等利用者は多い。	育成複層林施業 天然生林施業	実施主体：みなかみ町 ・歩道 ・園地	〃	
			246も～す					
			247れ、そ 301り2 302れ、そ 303な					
探	大峰山	48.24	252た3～つ	区域の中心をなす大峰沼や新緑、紅葉など四季を通じて優れた自然美を構成している。 地元住民はもとより、小中高生等のキャンプ、ハイキング、自然探勝等に利用されている。	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外	実施主体：みなかみ町 ・歩道 ・園地 ・展望台 ・野営場 ・管理棟	〃	
			253ち、つ、な～う1、の					
			253ね、う2、お 252ハ2、ハ3 253イ					
勝	大峰山	48.24	252た3～つ	区域の中心をなす大峰沼や新緑、紅葉など四季を通じて優れた自然美を構成している。 地元住民はもとより、小中高生等のキャンプ、ハイキング、自然探勝等に利用されている。	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外	実施主体：みなかみ町 ・歩道 ・園地 ・展望台 ・野営場 ・管理棟	〃	
			253ち、つ、な～う1、の					
			253ね、う2、お 252ハ2、ハ3 253イ					
林	大峰山	48.24	252た3～つ	区域の中心をなす大峰沼や新緑、紅葉など四季を通じて優れた自然美を構成している。 地元住民はもとより、小中高生等のキャンプ、ハイキング、自然探勝等に利用されている。	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外	実施主体：みなかみ町 ・歩道 ・園地 ・展望台 ・野営場 ・管理棟	〃	
			253ち、つ、な～う1、の					
			253ね、う2、お 252ハ2、ハ3 253イ					

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風 致 探 勝 林	三峰山 <small>みつみねやま</small>	82.89	1 か、よ	稜線が台地状の山体で眺望 に優れ、区域内にある河内神 社の背景林となっている。	育成複層林 施業	実施主体：みなかみ町 ・歩道	国が実 施する施 設整備の 計画なし	
			255ろ、は、へ					
	裏見の滝 <small>うらみたまき</small>	1.39	375へ	利根川支流武尊川の上流部 に位置し、高さ80mの絶壁から 落下する大瀑布と周辺の天然 生林が調和し、優れた自然景 観を形成している。	天然生林施業 林地以外	実施主体：みなかみ町 ・歩道	〃	
			375イ					
計	5か所	329.43						

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
その他 (レクリエーションの森施設敷)	笠ヶ岳 避難小屋	0.01	334口	単独レクリエーション施設	林地以外	実施主体：みなかみ町 ・避難小屋	国が実施する施設整備の計画なし	
	谷川岳 肩ノ小屋	0.04	310イ1	〃	林地以外	実施主体：群馬県 ・避難小屋	〃	
	天神尾根 熊穴小屋	0.01	310イ2	〃	林地以外	実施主体：群馬県 ・避難小屋	〃	
	藤原ダム 駐車場	0.20	382イ	〃	林地以外	実施主体：みなかみ町 ・駐車場	〃	
	奈女沢入 園地	0.07	262口	〃	林地以外	実施主体；民間 ・園地	〃	
	武尊 避難小屋	0.01	372イ	〃	林地以外	実施主体：群馬県 ・避難小屋	〃	
	平標 山の家	0.12	233イ	〃	林地以外	実施主体：国 ・避難小屋 実施主体：みなかみ町 ・避難小屋 ・野営場	〃	
	法師温泉	0.01	220ハ	〃	林地以外	実施主体：民間 ・温泉湧出口	〃	
	明治学院 大学山荘	0.01	52り1内	〃	林地以外	実施主体：民間 ・山小屋	〃	
計	9か所	0.48						
合計	35か所	5,536.09						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年月	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	小面積皆伐及び 非皆伐施業指標林 (子持山施業指標林)	昭和51年3月	29.38	162に2～に20	高密路網を開設し、一伐区の縮小及び非皆伐による樹下更新のモデル施業を実施する。
施業指標林計			29.38		
試験地	宝川森林理水試験地	昭和9年	114.34	336に～か、 ニ	森林の理水試験
	傾斜地における大型機械等を活用した天然更新方法試験地	平成3年4月	7.70	368わ8、わ9、 よ内	より確実な天然更新を図るため、傾斜地のササ密生地における大型機械によるかき起こし作業方法の確立。
	ササ生地等における広葉樹の保育方法についての試験地	平成4年4月	0.10	367ろ2内、 ろ4内	天然下種更新施業方法におけるササ等の刈払方法、稚幼樹の保育方法等について調査・研究。
	低コスト化を目指した人工造林技術の研究のための試験地	平成元年4月	1.43	162に15	造林事業の省力化により低コスト化を図る。
	森林の風致維持管理等のあり方についての研究のための試験地	平成2年4月	3.96	148て内、き3、 ゆ1内	レクリエーションの森及びその周辺の森林を対象にした風致維持管理手法のあり方について研究。

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
試 験 地	階段造林事業化試験地	昭和37年	25.35	116は 130に1、に5 156と	中、急傾斜地における造林作業の機械化及び能率化を図る。
試 験 地 計			152.88		
展 示 林	モ ミ 展 示 林	昭和46年3月	0.46	148あ1	地元造林功労者功績保存林
展 示 林 計			0.46		
次代検定林	一 般 検 定 林 (関 前 第 1 7 号)	昭和49年4月	2.33	157ぬ4	遺伝的生産能力の検定 (カラマツ)
	一 般 検 定 林 (関 前 第 4 号)	昭和45年4月	1.63	162る2	遺伝的生産能力の検定 (アカマツ)
	一 般 検 定 林 (関 前 第 1 3 号)	昭和48年4月	2.23	203よ3内	遺伝的生産能力の検定 (アカマツ)
次 代 検 定 林 計			6.19		
遺 伝 子 保 存 林	カ ラ マ ツ	昭和53年4月	1.50	55ろ5	長野南アルプス産
遺 伝 子 保 存 林 計			1.50		

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
366に内、ほ1	ふれあいの森 (奥利根ふれあいの森)	設 定：平成12年 9 月 実施主体：自治労東京都本部 木もく倶楽部 面 積：36.94ha
13い1内	ふれあいの森 (玉原高原ブナ林復元の森)	設 定：平成20年 7 月 実施主体：玉原高原の自然を守り育てる会 面 積：4.95ha
39に2内、40わ2内	ふれあいの森 (雨乞山ふれあいの森)	設 定：平成28年 4 月 実施主体：川場村 面 積：0.51ha
360に8	社会貢献の森 (CCC創造・再生の森)	設 定：平成23年 4 月 実施主体：特定非営利活動法人CCC自然・ 文化創造工場関東事業部 面 積：14.91ha
360よ2、よ5	社会貢献の森 (奈良俣どんぐりの森)	設 定：平成26年 5 月 実施主体：どんぐりの会東京 面 積：10.84ha
48た2、49ほ2	遊々の森 (花咲遊々の森)	設 定：平成16年 6 月 実施主体：片品村 面 積：5.80ha
154ち3内、 156わ1内、わ3内、 わ4内	遊々の森 (昭和村ふれあい遊々の森)	設 定：平成31年 3 月 実施主体：昭和村 面 積：3.70ha
212～248全 500イ1～イ5	モデルプロジェクトの森 (赤谷プロジェクト)	設 定：平成16年 3 月 実施主体：公益財団法人日本自然保護協会 赤谷プロジェクト地域協議会 面 積：9,509.64ha
360よ4	社会貢献の森 (新規設定地)	新規設定地面積：26.26ha

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林小班)		面 積 (ha)	協定の概要
川場村中野地区 森林共同施業団地	民		519	民有林と国有林を連結した路網の整備と相互利用による低コストで効率的な間伐等の実施 設 定 年 月：令和3年4月 協 定 名：川場村地域森林整備推進協定 協 定 期 間：令和3年4月～令和8年3月 協定相手方：群馬県利根沼田環境森林事務所 川場村 利根沼田森林組合
	国	36～39 林班	729	
合 計	民		519	1 か所
	国		729	

(4) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面積 (ha)	施業方法
48 に 49 ろ1 50 い 67 ね2	12.89	育成単層林施業
11 い1~い4 14 い1、い3、に1~と2 15 い1、い2 16 い1~に6、へ1~と11 18 へ~り、る2、よ3、よ4、よ6、た2~つ、な1~な5、ら2、ら4 19 い1 21 と1~と3、ち1 24 ろ、ほ1~ほ7、と、り1、り2、ぬ、る3、わ、よ 25 い、に1、に2、へ1、ち1、り1~り7、り10 28 い1、い2、ろ1~ろ5、に1~に3 29 い1~い3 30 い~ほ 31 ろ~に2、へ~ぬ、る2~ら 46 い1~い3、は、に1、ほ1、へ~ち3 47 い1、い2、ろ、か1、か4 48 い1、い3~い7、ほ、へ1、へ3~た1、た3~ね、な2~な5、 ら1~む1、む3~む5、う2~う4、う6、の1、お4、お5 49 ろ2、ろ3、ほ1、ほ3、と1~り、ぬ2~ぬ5、ぬ7、ぬ8、 る2~る6 50 ろ1~ろ3、へ1~へ3、ち1~り3、わ1、か、た、そ、ら1 51 ろ、ほ1、ほ2、ぬ、る1、れ 52 ぬ1~ぬ10、わ 53 ろ2、ろ5、に4~に8 54 い2~い4 55 ろ2 58 さ、ゆ1、め1 59 し2~し5、せ1、せ2 60 ろ~に1、へ1、る1、か1、た、つ1、ね1、う1、あ~ゆ 67 ろ、は、ほ、へ3~と、ぬ1~る2、る4~ね1、ね3~ら3 68 い、は2~ほ、と 69 い~へ1、と~ち3、わ1~よ 211 は、ほ1 251 わ1、わ2、か1、か2、た、れ2~つ1、む1、の、く 252 ち1、ち6、ち7、り1、り3、か1、た1、た2 253 に1、ほ1、へ1、と1、り、る1、る3、か1、か2、か5、よ~れ 254 ろ、は1、に~ほ2、と~る2、か~な、ら5~む、う2、う4、 う5、や~て、さ、き、し~せ2、せ6、せ7 302 か1、よ、た1、つ 312 の1、さ、ゆ1、ゆ3、し1、し2、ひ2~も 314 に3 316 わ1 364 か~よ2、れ、つ、な4~ら2 365 ろ~ほ、り~わ2、た~れ2 366 い~は、ち~り2、り4、り5、ぬ、わ1、わ2 368 り、る~わ4 370 い、ろ、と 373 い1~は2、ほ~ち、ぬ 375 ほ 384 は2、は3、け、ゆ、し4、ひ9、も1、も3、も4、も6、も8	2,853.39	育成複層林施業

位 置	面 積 (ha)	施業方法
11 い5 14 い2、ろ～は2、わ1、か 15 ろ1、ろ2、と1 16 ほ 18 よ1、よ5、た1、ね、ら3 19 い2 24 に2、に3、へ、ち、る1、か 25 ろ～は2、ほ1、ほ2、り8、り9 28 い3、は 31 い、ほ、る1 46 に2、ほ2 47 か2、か3 48 い2、ろ、は、へ2、な1、な6、む2、う1、う5、お1～お3 49 い1～い3、は～に2、へ、ぬ1、ぬ6、る1、る7～か 50 ろ4～ほ、と、ぬ、る、わ2、よ、れ、つ～な、ら2 51 い、は、に、へ～り、る2～か、よ2、そ 52 か1～か3 53 い1、ろ3、ろ4、に3 54 い1 60 に2、ほ、る2、わ、そ、ね3、な1、ら～む2 67 い、る3 68 は1 69 へ2、り3、た～そ 211 い、ろ、に 251 よ、れ1、お1、お2 252 か3 254 へ1、ら1、ら3、ら4、う1、う3、く、あ1、あ2、せ3～せ5、せ8 312 う1、う2、て2、ゆ2、ゆ4、め、ひ1 314 ほ～り 316 わ2、か 318 は2、に、と 320 い 364 り2、わ、む3 365 い、ち、か、よ 366 へ1、へ2、へ4、へ5、り6、る 368 ろ～ち、ぬ、わ5、わ6、そ 370 は1、へ3、へ4 373 に1～に3、り、る1、つ 375 に1、に2 383 は、ほ、へ 384 ろ、の2、ま、も5、も7	1,397.89	天然生林施業

位 置	面 積 (ha)	施業方法
11 イ1～ハ4 14 イ～ハ 15 イ1、イ2 19 イ 24 イ～ハ2 25 ロ、ハ 30 ロ1、ロ3 46 ロ 48 イ、ロ、ホ 49 イ 50 イ1、イ2、ハ 60 イ2、ロ2 67 イ、ハ1～ニ 68 ロ、ハ 69 イ 250 イ 251 チ 254 イ1～イ3 312 ニ 316 ロ2 320 ロ 366 イ2 368 イ 373 イ～ロ2	87.67	林 地 以 外
計	4,351.84	

(注) (1)、(2) の箇所を除く。

附 属 参 考 资 料

(1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積

(単位：面積 ha)

担当区	関 係 市 町 村	要 存 置 林 野		不 要 存 置 林 野 面 積	官 行 造 林 地 面 積
		面 積	関 係 林 班		
沼 田	沼 田 市	4,841.69	1~17、153、160~164、 500口1、口2	—	—
	昭 和 村	1,155.93	154~159	—	—
	小 計	5,997.62		—	—
根 利	沼 田 市	4,268.08	116~136、 500口3~口5	—	—
	小 計	4,268.08		—	—
南 郷	沼 田 市	4,712.15	110~115、137~152、 500口6~口9	—	—
	小 計	4,712.15		—	—
追 貝	沼 田 市	11,162.46	42、78~109、165~177	—	90.76
	小 計	11,162.46		—	90.76
鎌 田	沼 田 市	341.59	73ろ、75~76	—	—
	片 品 村	5,275.19	57~72、73い1~い4、74、77	—	30.35
	小 計	5,616.78		—	30.35
花 咲	片 品 村	3,898.93	43~56	—	—
	小 計	3,898.93		—	—
谷 地	沼 田 市	309.11	40~41	—	—
	川 場 村	4,410.92	18~39	—	—
	小 計	4,720.03		—	—
月夜野	みなかみ町	3,824.61	201~211、249~263	—	87.01
	小 計	3,824.61		—	87.01
相 俣	みなかみ町	9,509.64	212~248、 500イ1~イ5	—	—
	小 計	9,509.64		—	—
水 上	みなかみ町	10,671.30	301~332、383~388、 500ハ2、ニ5	—	—
	小 計	10,671.30		—	—
藤 原	みなかみ町	32,765.59	333~382、 500ハ1、ニ1~ニ4	—	—
	小 計	32,765.59		—	—
計		97,147.19		—	208.12

② 保安林、自然公園等の面積

(単位：面積 ha)

種 類	細 分	面 積	備 考
保 安 林	水 源 かん 養	62,943.75	
	土 砂 流 出 防 備	10,692.02	
	土 砂 崩 壊 防 備	80.54	
	干 害 防 備	110.08	
	な だ れ 防 止	297.81	
	保 健	116.38	
	計	74,240.58	
砂 防 指 定 地		29.37	
国 立 公 園	特 別 保 護 地 区	2,074.69	
	第 1 種 特 別 地 域	2,070.28	
	第 2 種 特 別 地 域	3,369.42	
	第 3 種 特 別 地 域	204.86	
	普 通 地 域	8,103.62	
	計	15,822.87	
自 然 環 境 保 全 地 域	特 別 地 区	2,318.00	
県 自 然 環 境 保 全 地 域	特 別 地 区	2,312.40	
	普 通 地 域	879.32	
	計	3,191.72	
鳥 獣 保 護 区	特 別 保 護 地 区 以 外	9,552.92	
	計	9,552.92	
史 跡 名 勝 天 然 記 念 物		2.60	
地 す べ り 防 止 区 域		60.64	

(注) 保安林の「計」欄は保安林種ごとの重複関係を除く面積を計上した。

(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積 ha, 材積 m³)

機能類型 林種		山地災害防止タイプ					快適環境形成タイプ		水源かん養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合計		
		土砂流出崩壊防備		気象害防備		計		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
		面積	材積	面積	材積	面積	材積										
人 工 林	育成単層林	981.66	232,121			981.66	232,121			19,047.61	4,236,797			2,861.53	646,336	22,890.80	5,115,254
	育成複層林	306.02	62,520			306.02	62,520			2,525.68	551,739	12.60	2,479	857.58	180,347	3,701.88	797,085
	小計	1,287.68	294,641			1,287.68	294,641			21,573.29	4,788,536	12.60	2,479	3,719.11	826,683	26,592.68	5,912,339
天 然 林	育成単層林									65.50	6,487			4.31	1,143	69.81	7,630
	育成複層林	617.41	94,894			617.41	94,894			4,538.07	802,081			1,114.71	161,490	6,270.19	1,058,465
	天然生林	15,007.54	1,961,667			15,007.54	1,961,667			16,271.90	2,250,884	16,718.81	1,513,960	4,441.86	617,018	52,440.11	6,343,529
	小計	15,624.95	2,056,561			15,624.95	2,056,561			20,875.47	3,059,452	16,718.81	1,513,960	5,560.88	779,651	58,780.11	7,409,624
無立木地		0.83				0.83				388.47						389.30	
竹林																	
林地計		16,913.46	2,351,202			16,913.46	2,351,202			42,837.23	7,847,988	16,731.41	1,516,439	9,279.99	1,606,334	85,762.09	13,321,963
林地以外		575.34	50			575.34	50			1,639.17	185	7,896.40		1,274.19	1,380	11,385.10	1,615
合計		17,488.80	2,351,252			17,488.80	2,351,252			44,476.40	7,848,173	24,627.81	1,516,439	10,554.18	1,607,714	97,147.19	13,323,578

(3) 林道等の現況

(単位：km)

区 分	林 道			林業専用道
	自動車道	軽 車 道	合 計	
延 長	382.7	—	382.7	6.6

(4) 収穫予想表

40 ページ以降に示すとおりである。

森林調査簿の地位級と収穫予想表の地位との対比

収 穫 予 想 表 の 地 位	森 林 調 査 簿 の 地 位 級				
	ス ギ	ヒ ノ キ	ア カ マ ツ	カ ラ マ ツ	その他N・L
1	14以上	9以上	10以上	8以上	3
2	10～13	7～8	8～9	6～7	2
3	9以下	6以下	7以下	5以下	1

(5) 地元施設等の現況

(単位：ha)

区 分	分収造林契 約に基づく 分 収 林	分収育林契 約に基づく 分 収 林	共 用 林 野			
			普 通	薪 炭	放 牧	合 計
面 積	1,215.13	194.46	8,629.06	—	—	8,629.06

貸 地					
植 樹 用 地	農 耕 用 地	鉱 業 用 地	道 路 用 地	水 路 用 地	電 気 事 業 用 地
0.05	18.18	0.78	276.18	20.93	309.31

貸 地					
温 鉱 泉 用 地	学 校 用 地	採 草 放 牧 地	建 物 用 地	そ の 他 貸 地	合 計
—	—	98.72	11.08	93.02	828.25

収穫予想表

樹種 スギ

齡 級	地 位 1									地 位 2									地 位 3									林 齡 年								
	主林木			副林木			主副林木合計			主林木			副林木			主副林木合計			主林木			副林木			主副林木合計											
	1ha当り									1ha当り									1ha当り																	
	幹材積量 m ³	連年成長量 m	平均成長量 m	幹材積量 m ³	幹材積累計 m ³	幹材積量 m ³	連年成長量 m	平均成長量 m	総收穫量 m ³	成長率 %	平均胸高直径 cm	平均樹高 m	本数 本	幹材積量 m ³	連年成長量 m	平均成長量 m	幹材積量 m ³	幹材積累計 m ³	幹材積量 m ³	連年成長量 m	平均成長量 m	総收穫量 m ³	成長率 %	幹材積量 m ³	連年成長量 m	平均成長量 m	幹材積量 m ³		幹材積累計 m ³	幹材積量 m ³	連年成長量 m	平均成長量 m	総收穫量 m ³	成長率 %		
I																																		5		
II	29		2.9			29		2.9	29		6.2	4.2	2,850	23		2.3			23		2.3	23		17		1.7			17		1.7	17	10			
		11.2					13.8		27.6					9.0					11.0		27.7			4.8					6.2		3.2	48	23.1	15		
III	85		5.7	13	13	98		6.5	98		9.7	6.7	2,200	68		4.5	10	10	78		5.2	78		41		2.7	7	7	48		3.2	48	13.4	20		
		12.4					15.2		15.4					9.4					11.6		14.9			5.6					5.8		4.2	84		9.8	25	
IV	147		7.4	27	40	174		9.4	187		13.0	9.5	1,650	115		5.8	21	31	136		7.3	146		69		3.5	8	15	77		4.2	84		7.9	30	
		12.2					13.2		10.3					8.8					9.6		9.9			6.0					6.6		5.0	125		6.7	35	
V	208		8.3	32	72	240		11.2	280		15.9	11.8	1,300	159		6.4	25	56	184		8.6	215		99		4.0	11	26	110		5.7	171		5.4	40	
		10.8					11.6		7.5					7.8					8.2		7.2			6.2					7.0		6.3	221		4.2	45	
VI	262		8.7	36	108	298		12.3	370		18.5	13.8	1,050	198		6.6	27	83	225		9.4	281		130		4.3	15	41	145		5.7	171		3.2	50	
		9.4					9.2		5.6					7.2					6.8		5.5			6.2					7.0		6.3	221		2.6	55	
VII	309		8.8	35	143	344		12.9	452		20.9	15.4	900	234		6.7	25	108	259		9.8	342		161		4.6	19	60	180		6.3	221		2.2	60	
		8.0					7.4		4.3					6.8					6.4		4.5			5.8					5.8		6.7	269		2.6	65	
VIII	349		8.7	32	175	381		13.1	524		23.1	16.8	800	268		6.7	23	131	291		10.0	399		190		4.8	19	79	209		6.7	269				
		7.4					6.4		3.4					6.2					5.8		3.6			5.0					4.8		6.9	312				
IX	386		8.6	27	202	413		13.1	588		25.2	18.0	710	299		6.6	21	152	320		10.0	451		215		4.8	18	97	233		6.9	312				
		7.2					6.6		2.9					5.8					5.6		3.1			4.2					3.8		7.0	349				
X	422		8.4	24	226	446		13	648		27.1	19.1	640	328		6.6	20	172	348		10.0	500		236		4.7	16	113	252		7.0	349				
		7.0					6.6		2.6					5.6					5.2		2.7			3.4					3.2		6.9	381				
X I	457		8.3	22	248	479		12.8	705		28.8	20.1	580	356		6.5	18	190	374		9.9	546		253		4.6	15	128	268		6.9	381				
		7.0					6.6		2.3					5.2					4.8		2.3			3.0					2.8		6.8	410				
X II	492		8.2	20	268	512		12.7	760		30.4	21.0	540	382		6.4	16	206	398		9.8	588		268		4.5	14	142	282		6.8	410				
X III																																				

※成長率はライプニッツ式を用いて算出

収穫予想表

樹種 ヒノキ

級	地 位 1										地 位 2										地 位 3										林 齢				
	主林木					副林木					主林木					副林木					主林木					副林木									
	1ha当り										1ha当り										1ha当り														
	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	幹材積 m³	幹材積累計 m³	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	総收穫量 m³	成長率 %	平均胸高直径 cm	平均樹高 m	本数 本	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	幹材積 m³	幹材積累計 m³	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	総收穫量 m³	成長率 %	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	幹材積 m³	幹材積累計 m³	幹材積 m³	連年成長量 m³		平均成長量 m³	総收穫量 m³	成長率 %	
II																																		10	
III	49		3.3			49		3.3	49		6.5	4.8	3,400	37		2.5			37		2.5	37		27.5		1.8			27.5		1.8	27.5		15	
IV	89	8.0	4.5	5.5	5.5	94.5	9.1	4.7	94.5	14.0	8.8	7.5	2,800	68	6.2	3.4	5	5	73	7.2	3.7	73	14.6	52	4.9	2.6	3	3	55	5.5	2.8	55	14.9	20	
V	132	8.6	5.3	11	16.5	143	9.7	5.9	148.5	9.9	11.3	9.5	2,250	102	6.8	4.1	8	13	110	7.4	4.6	115	10.1	77	5.0	3.1	7	10	84	5.8	3.5	87	10.1	25	
VI	177	9.0	5.9	15.5	32	192.5	9.9	7.0	209	7.8	13.6	11.2	1,750	135	6.6	4.5	12	25	147	7.4	5.3	160	7.6	102	5.0	3.4	8	18	110	5.2	4	120	7.4	30	
VII	214.5	7.5	6.1	20	52	234.5	8.4	7.6	266.5	5.8	15.8	12.6	1,370	165	6.0	4.7	14	39	179	6.4	5.8	204	5.8	122	4.0	3.5	11	29	133	4.6	4.3	151	5.5	35	
VIII	249	6.9	6.2	18	70	267	6.5	8.0	319	4.5	17.8	13.8	1,170	191	5.2	4.8	13	52	204	5.0	6.1	243	4.3	141.5	3.9	3.5	10	39	151.5	3.7	4.5	180.5	4.4	40	
IX	277.5	5.7	6.2	16	86	293.5	5.3	8.1	363.5	3.3	19.7	14.8	1,000	214	4.6	4.8	13	65	227	4.6	6.2	279	3.5	160	3.7	3.6	9	48	169	3.5	4.6	208	3.6	45	
X	306	5.7	6.2	16	86	293.5	5.3	8.1	363.5	2.9	19.7	14.8	1,000	214	4.2	4.8	13	65	227	4.0	6.2	279	2.9	160	3.2	3.6	9	48	169	3.2	4.6	208	2.9	50	
X I	334	5.6	6.1	14	100	320	5.4	8.1	406	2.5	21.5	15.6	880	235	4.0	4.7	12	77	247	3.8	6.2	312	2.5	176	3.0	3.5	9	57	185	3.0	4.7	233	2.6	55	
X II	356.5	4.5	6.1	13	113	347	4.3	8.1	447	2.0	23.2	16.2	800	255	3.8	4.6	11	88	266	3.6	6.2	343	2.2	191	2.8	3.5	9	66	200	2.6	4.7	257	2.2	60	
X III			5.9	12	125	368.5		8.0	481.5		24.8	16.7	730	274		4.6	10	98	284		6.2	372		205		3.4	8	74	213		4.7	279		65	
X IV																																			70

※成長率はライブニツツ式を用いて算出

収穫予想表

樹種 アカマツ

齡 級	地 位 1									地 位 2									地 位 3									林 齡 年									
	主林木			副林木			主 副 林 木 合 計			主 林 木			副 林 木			主 副 林 木 合 計			主林木			副 林 木			主 副 林 木 合 計												
	1ha当り									1ha当り									1ha当り																		
	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	幹材積 m³	幹材積累計 m³	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	総收穫量 m³	成長率 %	平均胸高直径 cm	平均樹高 m	本数 本	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	幹材積 m³	幹材積累計 m³	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	総收穫量 m³	成長率 %	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	幹材積 m³		幹材積累計 m³	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	総收穫量 m³	成長率 %			
I																																				5	
II	23		2.3			23		2.3	23	25.5	4.4	3.3	3,900	19		1.9			19		1.9	19	25.2	15		3.7	1.5			15		1.5	15	24.8	10		
III	53	6.0	3.5	18.5	18.5	71.5		4.8	71.5	15.1	7.0	5.6	3,050	43.5		2.9	15	15	58.5		3.9	58.5	15.4	33.5		4.3	2.2	12	12	45.5		3	45.5	15.4	15		
IV	87	6.8	4.4	20	38.5	107		6.3	125.5	9.8	9.6	7.5	2,340	71		3.6	18	33	89		5.2	104	10.0	55		4.3	2.8	13.5	25.5	68.5		4	80.5	10.2	20		
V	120.5	6.7	4.8	18.5	57	139		7.1	177.5	7.2	12.5	9.4	1,660	98.5		3.9	16	49	114.5		5.9	147.5	7.3	76.5		4.2	3.1	13	38.5	89.5		4.6	115	7.4	25		
VI	153.5	6.6	5.1	17	74	170.5		7.6	227.5	5.4	15.2	10.8	1,180	125.5		4.2	14.5	63.5	140		6.3	189	5.4	97.5		4.2	3.3	12	50.5	109.5		4.9	148	5.5	30		
VII	182.5	5.8	5.2	17	91	199.5		7.8	273.5	5.4	17.7	12.0	920	149		4.3	14.5	78	163.5		6.5	227	5.4	116.5		3.8	3.3	11	61.5	127.5		5.1	178	4.3	35		
VIII	207.5	5.0	5.2	16	107	223.5		7.9	314.5	4.1	20.0	13.0	800	171		4.3	13	91	184		6.6	262	4.3	133		3.3	3.3	11	72.5	144		5.1	205.5	4.3	40		
IX	231	4.7	5.1	14	121	245		7.8	352	3.4	22.1	13.8	700	190		3.8					6.5	293	3.4	149		3.2	3.3	10	82.5	159		5.1	231.5	3.6	45		
X	252	4.2	5.0	13	134	265		7.7	386	2.8	24.8	14.4	650	208		3.6					6.4	322	2.9	163		2.8	3.3	9.6	92.1	172.6		5.1	255.1	3.0	50		
X I																																				55	
X II																																					60

※成長率はライブニッツ式を用いて算出

収穫予想表

樹種 カラマツ

齡 級	地 位 1									地 位 2									地 位 3									林 齡 年					
	主林木			副林木			主 副 林 木 合 計			主 林 木			副 林 木			主 副 林 木 合 計			主林木			副 林 木			主 副 林 木 合 計								
	1ha当り									1ha当り									1ha当り														
	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	幹材積 m³	幹材積累計 m³	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	総収穫量 m³	成長率 %	平均胸高直径 cm	平均樹高 m	本数 本	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	幹材積 m³	幹材積累計 m³	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	総収穫量 m³	成長率 %	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	幹材積 m³		幹材積累計 m³	幹材積 m³	連年成長量 m³	平均成長量 m³	総収穫量 m³
I																																	5
II	20		2.0			20		2	20		5.0	5.5	2,000	12		1.2			12		1.2	12		8		0.8			8		0.8	8	10
		9.6					11.2							8.0						9.0			36.6	6.4					7.2			40.6	
III	68		4.5	8	8	76		5.1	76		10.0	8.0	1,570	52		3.5	5	5	57		3.8	57		40		2.7	4	4	44		2.9	44	15
		9.4					10.6							8.4						9.8			15.3	7.2					7.8			15.7	
IV	115		5.8	14	22	129		6.9	137		13.1	10.4	1,310	94		4.7	12	17	106		5.6	111		76		3.8	7	11	83		4.4	87	20
		8.0					9.0							6.8						7.4			8.8	6.0					6.6			8.8	
V	155		6.2	19	41	174		7.8	196		15.2	12.5	1,085	128		5.1	15	32	143		6.4	160		106		4.2	10	21	116		5.1	127	25
		7.0					7.4							5.8						6.2			6.3	4.6				5.0			5.9		
VI	190		6.3	21	62	211		8.4	252		17.3	14.2	900	157		5.2	17	49	174		6.9	206		129		4.3	12	33	141		5.4	162	30
		5.0					5.4							4.2						4.4			4.5	4.0				4.2			4.7		
VII	215		6.1	23	85	238		8.6	300		19.2	15.7	760	178		5.1	18	67	196		7.0	245		149		4.3	13	46	162		5.6	195	35
		4.0					4.2							3.6						3.6			3.8	3.6				3.6			3.9		
VIII	235		5.9	24	109	259		8.6	344		21.1	16.9	650	196		4.9	18	85	214		7.0	281		167		4.2	13	59	180		5.7	226	40
		3.2					3.0							3.0						3.2			3.3	3.0				3.2			3.3		
IX	251		5.6	23	132	274		8.5	383		22.7	17.9	580	211		4.7	19	104	230		7.0	315		182		4.0	14	73	196		5.7	255	45
		3.0					3.0							2.6						2.6			2.9	2.2				2.4			2.7		
X	266		5.3	23	155	289		8.4	421		24.2	18.7	520	224		4.5	19	123	243		6.9	347		193		3.9	15	88	208		5.6	281	50
		2.6					2.2							2.2						2.0			2.5	2.0				1.8			2.4		
X I	279		5.1	21	176	300		8.3	455		25.7	19.5	460	235		4.3	18	141	253		6.8	376		203		3.7	14	102	217		5.5	305	55
		2.2					1.8							2.0						1.6			2.1	1.6				1.8			2.2		
X II	290		4.8	19	195	309		8.1	485		27.2	20.0	415	245		4.1	16	157	261		6.7	402		211		3.5	15	117	226		5.5	328	60

※成長率はライブニツツ式を用いて算出

収穫予想表

樹種 針葉樹(天下)

齡 級	地 位 1				地 位 2				地 位 3				林 齡 年
	主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %				成 長 率 %				成 長 率 %	
	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		
I													5
II	8		0.8		5.4		0.5		3		0.3		10
III	14	1.2		11.8	9.4	0.8		11.7	6	0.6		14.9	15
IV	22	1.6		9.5	15.4	1.2		10.4	10	0.8		10.8	20
V	31	1.8		7.1	22.7	1.5		8.1	15	1.0		8.4	25
VI	42	2.2		6.3	30.8	1.6		6.3	21	1.2		7.0	30
VII	55	2.6		5.5	39.6	1.8		5.2	27	1.2		5.2	35
VIII	69	2.8		4.6	49.5	2.0		4.6	34	1.4		4.7	40
IX	84	3.0		4.0	60.3	2.2		4.0	41	1.4		3.8	45
X	100	3.2		3.5	71.5	2.2		3.5	49	1.6		3.6	50
XI	117	3.4		3.2	83.4	2.4		3.1	57	1.6		3.1	55
XII	134	3.4		2.8	95.4	2.4		2.7	66	1.8		3.0	60
XIII	150	3.2		2.3	107.6	2.4		2.4	75	1.8		2.6	65
XIV	165	3.0		1.9	119.7	2.4		2.2	84	1.8		2.3	70
XV	178	2.6		1.5	131.3	2.3		1.9	93	1.8		2.1	75
XVI	189	2.2		1.2	141.5	2.0		1.5	101	1.6		1.7	80
XVII	199	2.0		1.0	150.3	1.8		1.2	108	1.4		1.3	85
XVIII	208	1.8		0.9	158.2	1.6		1.0	114	1.2		1.1	90
XIX	216	1.6		0.8	165.2	1.4		0.9	119	1.0		0.9	95
XX	223	1.4		0.6	171	1.2		0.7	123	0.8		0.7	100
		2.2											

※成長率はライブニツツ式を用いて算出

収穫予想表

樹種 広葉樹(天下)

齡 級	地 位 1				地 位 2				地 位 3				林 齡 年
	主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %				成 長 率 %				成 長 率 %	
幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹 材 積 m ³		連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹 材 積 m ³		連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³			
I													5
II	14		1.4		10		1.0		6		0.6		10
III	23	1.8		10.4	17	1.4		11.2	11	1.0		12.9	15
IV	34	2.2		8.1	25	1.6		8.0	17	1.2		9.1	20
V	46	2.4		6.2	34	1.8		6.3	23	1.2		6.2	25
VI	60	2.8		5.5	44	2.0		5.3	30	1.4		5.5	30
VII	75	3.0		4.6	55	2.2		4.6	37	1.4		4.3	35
VIII	91	3.2		3.9	67	2.4		4.0	45	1.6		4.0	40
IX	106	3.0		3.1	79	2.4		3.3	54	1.8		3.7	45
X	120	2.8		2.5	91	2.4		2.9	63	1.8		3.1	50
X I	133	2.6		2.1	102	2.2		2.3	72	1.8		2.7	55
X II	145	2.4		1.7	112	2.0		1.9	80	1.6		2.1	60
X III	156	2.2		1.5	121	1.8		1.6	87	1.4		1.7	65
X IV	166	2.0		1.3	129	1.6		1.3	93	1.2		1.3	70
X V	176	2.0		1.2	137	1.6		1.2	99	1.2		1.3	75
X VI	185	1.8		1.0	144	1.4		1.0	104	1.0		1.0	80
X VII	194	1.8		1.0	151	1.4		1.0	109	1.0		0.9	85
X VIII	203	1.8		0.9	158	1.4		0.9	114	1.0		0.9	90
X IX	211	1.6		0.8	164	1.2		0.7	118	0.8		0.7	95
X X	219	1.6		0.7	170	1.2		0.7	122	0.8		0.7	100
		2.2											

※成長率はライブニツツ式を用いて算出

収穫予想表

樹種 広葉樹(ぼう芽)

齡 級	地 位 1				地 位 2				地 位 3				林 齡 年
	主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %				成 長 率 %				成 長 率 %	
	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		
I													5
II	20		2.0		16.7		1.7		12		1.2		10
		3.0		11.8		2.2		10.8		1.2		8.4	
III	35		2.3		27.9		1.9		18		1.2		15
		3.4		8.2		2.4		7.4		1.4		6.8	
IV	52		2.6		39.8		2.0		25		1.3		20
		3.0		5.2		2.5		5.6		1.8		6.3	
V	67		2.7		52.3		2.1		34		1.4		25
		2.8		3.9		2.3		4.1		1.6		4.3	
VI	81		2.7		63.9		2.1		42		1.4		30
		2.8		3.2		2.2		3.2		1.8		4.0	
VII	95		2.7		74.9		2.1		51		1.5		35
		2.6		2.6		2.0		2.5		1.6		3.0	
VIII	108		2.7		84.8		2.1		59		1.5		40
IX													45
X													50

※成長率はライブニツツ式を用いて算出